

佐倉市議会だより



2024年
（令和6年）
8月1日

6月
定例会

一般会計補正予算など16議案を可決・同意

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等への支援など

6月3日から6月24日までの22日間で令和6年6月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から「令和6年度佐倉市一般会計補正予算」など12件、諮問4件が提出され、審議の結果、可決、

同意しました。請願については「『国における2025年度教育予算拡充に関する意見書』採択に関する請願書」など3件、議員提出議案は「国における令和7年度教育予算拡充に関する意見書」など10件が

提出され、審議しました。

また、一般質問には各会派の代表質問に7人、個人質問に8人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

議案

Pick up

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援策

総事業費 312,668千円

～議案第1号 一般会計補正予算より～

◇エネルギー・食料品価格等の

物価高騰に伴う子育て支援

事業費：38,572千円

- 民間保育園等・公立保育園・認可外保育施設・私立幼稚園への給食用食材費高騰分の支援



◇消費下支え等を通じた生活者支援

事業費：168,412千円

- 市内水道使用者（公共施設を除く）の2カ月分の基本料金相当額を減免



◇福祉施設に対する物価高騰対策支援

事業費：74,686千円

- 介護施設等・障害福祉施設等に対し、物価高騰分の1/2に相当する額を支給



◇地域公共交通に対する支援

事業費：30,998千円

- 公共交通事業者に対し、燃料高騰分の1/2に相当する額を支給



5月
臨時会

議長に敷根 文裕議員、副議長に密本 成章議員を選出

5月16日に5月臨時会を開催しました。臨時会では、市長から「専決処分の承認を求めることについて」の議案3件が提出され、審議の結果、いずれも承認しました。

また、議長と副議長の選挙を行い、議長に敷根文裕議員、副議長に密本成章議員を選出するとともに、各常任委員や議会運営委員の選任を行いました。

*議会の構成は8ページに掲載しています。



第68代 議長

敷根 文裕 議員

平成27年4月初当選以来、連続3期目。この間、第64代副議長、総務常任委員長などを務める。

[所属会派・さくら会]



第66代 副議長

密本 成章 議員

平成31年4月初当選以来、連続2期目。この間、文教福祉常任副委員長、建設常任副委員長などを務める。

[所属会派・さくら会]



市政に関する

一般質問

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。()内は会派名

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 高木大輔, 橋岡協美) and their respective questions (e.g., ①市長の政治姿勢, ④地域の活性化について).

個人質問

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 望月庄子, 押木孝和) and their respective questions (e.g., ①佐倉日蘭協会について, ③障がい者と高齢者のための文化芸術活動について).

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

6月定例会では、6月10日から6月13日までの4日間にわたり一般質問を行いました。

市政に対し、活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

代表質問

さくら会

たかぎ だいすけ 高木 大輔



市長の政治姿勢

問 扶助費の増大など、経費の増加が見込まれる中、持続可能な財政運営のため、今後の歳入確保に係る考えについて伺う。

答 持続可能な財政運営のためには、歳入確保が課題。市税の着実な収入に取り組むとともに、国などによる各種交付金や交付税措置の対象となる地方債の活用を図る他、新たな自主財源の確保も引き続き検討していく。限りある財源を効果的に活用するため、選択と集中による適切な予算配分にも努める。

災害に強いまちづくり

問 今後の気候変動対策をどのように進めていくのか伺う。

答 行動計画に基づき、緩和と適応の両輪で進めていく。まずは、広報による市民周知、小中学校でのESD教育を継続実施する。また、田んぼダムや里山保全活動を行っている団体や事業者、研究機関と連携した適応策と、温室効果ガス削減にもつながる高機能バイオ炭の実証試験など、研究機関と連携して緩和策にも取り組み、気候変動対策と防災・減災に資する取り組みを展開していく。

地域の活性化について

問 2028年度の成田空港機能拡張に伴い、旅客数や従業員数の大幅増が見込まれる。この好機に、市長の考えを伺う。

答 今回の機能拡張は、地域活性化の絶好機と捉えているが、人材確保や事業用地の創出、人や物の移動、就業者の居住空間など、さまざまな基盤充実が課題。この解決には、関係自治体との連携が重要である。例えば、東関東を活用したパーク&ライド*手法により、就業者の居住範囲が広がる他、空港利用者のトランジット観光の取り込みなど、観光地としての魅力増進にもつながるものと考えている。佐倉市だけではなく千葉県全体がこの好機を生かせるよう取り組んでいきたい。

当面の課題

問 西志津スポーツ等多目的施設用地に係る在り方の検討状況について伺う。

答 当用地については、その取得以来、多目的広場として暫定利用してきたが、市全体で考えた場合、真に市民サービスに資するものとなっているか、判断をする時期に来ているものと考えている。今年度より、庁内関係部署による協議を開始。引き続き協議を行い、今後の方向性について検討を進めていく。

問 カスハラ対応について伺う。

答 不当行為となるカスハラには、組織の毅然とした対応が必要。悩む職員への相談窓口の案内など、不当行為から職員を守るための必要な対策を検討する。

自由民主さくら

はしおか きょうみ 橋岡 協美



市長の政治姿勢について

問 今期で目指すものは何か。

答 市民が安心して将来に夢や希望の持てる持続可能なまちづくりを目指す。

観光Wコア構想と用地交渉

問 臼井城址公園、阿多津の墓、歴博等の魅力推進による観光Wコア構想と用地交渉を伺う。

答 城下町地区と印旛沼周辺の観光拠点とインフラ整備で、定住人口の維持に結びつけ、用地交渉は土地ごとに不動産鑑定を実施し、適正に進めていく。

チューリップフェスタの総括

問 チューリップフェスタの今後の課題を伺う。

答 前日の雨により、駐車可能台数が減少したこと等に起因する交通渋滞対策としてふるさと広場の拡張計画と併せ、道路や駐車場の整備を進めていく。

問 好評の掘り取り体験の継続、仮設トイレの悪臭改善と外国人対応、観光客の回遊性の向上を求め。

ユーカリが丘1丁目歩道の補修

問 ユーカリが丘1丁目自治会

用語解説

※【パーク&ライド】市街地への自動車の流入を抑制するための対策で、市街地周辺部に駐車し、市街地では公共交通機関を利用するシステム

の令和5年4月3日提出の要望である中央通りの樹木の伐採と歩道の補修について進捗を伺う。

答 児童の転倒事故が相次いでいる歩道は、舗装の補修と根上りの処理を局所的に実施予定。今後、全面伐採と補修を進めるため順次予算確保に努める。

災害時の物資集積拠点の複数化

問 能登半島地震での道路寸断による物資輸送の課題から、1カ所のみでの災害時の物資集積所(佐倉市民体育館)を西部地区に増設することを提案する。

答 物資集積拠点の複数化は、他の事例等を調査研究する。

日常生活から死後対応まで

問 頼れる身寄りのない高齢者の相談先について伺う。

答 地域包括支援センターで相談可。わたしらしく生きるを支える手帳に記載がある医療や介

護の希望についても相談できる。金銭管理及び判断能力が低下した際の代理人となる成年後見制度などの相談は、佐倉市成年後見支援センターで受けている。

車がなくても暮らせるまち

問 通院や買い物の移動手段として次期交通計画の中でAI予約のデマンド交通について伺う。

答 さまざまな手法と可能性について、地域公共交通会議において議論を深める。

問 コミュニティバス、民間路線バス維持の補助金は、今後財政負担が軽減される見通しか。

答 仮に、現状のサービスを継続するだけでも、財政負担の増加を避けることは難しい。

問 市民も運送事業者も佐倉市も三方よしとなるよう、庁内連携の横串を通して市民の移動の確保につなぐことを求める。

ため、現在の機能に加え未整備の個室仮眠室、女性職員施設、救急消毒室等を整備するとともに、多様な災害を想定し、専門的な知識や高度な技術を習得するための訓練施設及び大規模災害が発生した際に、支援を円滑に受け入れるための防災拠点施設の整備について、新たに進めたいとのこと。市も、訓練施設や防災拠点施設を新たに設けることは、地域の安全・安心につながるので適切と判断している。

問 この規模であれば、総務省消防庁が実施する実態調査により消防力整備指針における志津地区の消防署が一署少なく、基準を満たしていない状態のまま現在に至っている問題も補完できるのではないかと期待する。一刻も早く前倒して進めるべきだ。一方、現在劣悪な環境で我慢を重ね勤務にあたっている職員も、完成までの間、継続して負担を強いることで精神的に士気が下がることが懸念される。現施設で応急的にでも改善できる点があれば、ちゅうちょなく整備していただきたいと組合管理者の西田市長に強く申し添える。

答 女性の消防士や救急隊もいる現場であり、応急的に建物を建て対応していきたい。また、建て替えについては、議員ご指摘のとおり1日も早く進めるよう管理者として努力する。

公明党

おかむら
岡村

よしき
芳樹



志津消防署の建て替えについて

問 志津消防署の建替工事は、老朽化と劣悪な勤務環境の改善のため、待たないの状況であり、遅れが生じないよう提言してきた。市は、遅れないよう建替工事を進めるとのことだった。その後、佐倉市八街市酒々井町消防組合から、志津消防署の移転建て替えの要望書が市に提出され、それに沿い検討を進めてきたと理解している。2月定例会において、現志津消防署では、さまざまな制約の中、運用しているとのことだったが、組合から提出された要望内容に沿った用地選定ができたか伺う。

答 組合の要望内容は約5,500㎡の移転用地の確保であり、現志津消防署が立地する志津北部地区で市街地のアクセスや大型消防車両の出動時の道路状況等も考慮し、移転候補地の選定を行った。候補地は、区画の関係から約7,000㎡で、幹線道路に接道する土地となっており、組合から適当との回答を得ている。

問 現志津消防署は約1,650㎡と聞いているが、組合からの要望は約5,500㎡で、今回さらに広い約7,000㎡で移転計画を検討しているとのこと。どのような施設を想定しているか伺う。

答 移転後の想定する施設や設備について、消防組合としては、組合全体の消防力の強化を図る

市民ネットワーク 伊藤 とし子

いとう



深刻化する環境過敏症(香料・化学物質・電磁波等)対策

問 無香料の柔軟剤、抗菌洗剤類であっても、呼吸が苦しくなったり普通の生活もできない重篤な被害が出ていることや、化学物質過敏症患者は障害者差別解消法の対象であることをHP等で広く周知することを求める。

答 適切な合理的配慮の提供が行われるようHPにて市民、事業者にも周知を図っていく。

問 昨年同様、給食白衣の個別対応への周知を求める。

答 国県からの情報提供を受け、各学校、家庭に働きかけていく。

問 香害などで教室に入れない児童生徒には、タブレットを利用した授業等の対応を求める。

答 オンライン授業等可能な限り適切な環境の提供に努める。

マイナ保険証原則一本化問題

問 本年12月2日国は健康保険証を廃止し、マイナ保険証へ一

本化する。任意取得が原則のカード取得を強制するものである。健康保険証廃止後、カードを持たない者へは経過措置として資格確認書が当分の間発行されるが、番号法違反ではないか。

答 資格確認書は市の職権で発行するものであり、経過措置終了後も本人申請で発行するので、番号法の趣旨に抵触していない。

地方自治法改正の問題点

問 自治法改正により、大規模災害、感染症まん延など国民に重大な影響を及ぼす事態が発生した場合、国は閣議決定だけで自治体に指示を行い、自治体は応じる法的義務を負う。国と地方の関係を上下・主従から対等・協力関係に改めた地方分権改革に逆行するものである。市長の見解を伺う。

答 国の補充的な指示が安易に行われることがないよう、動向を注視していく。

公開と改革

たかはし
高橋

とみお



佐倉里山自然公園の民有地

問 当公園エリア内には、鉄板で囲われたスクラップヤードやごみ捨場のような場所が数カ所見られる。スクラップヤードにあるものは、コンクリートがらだ。これらは法的に産業廃棄物であるため、放置することは違法の可能性が高い。また、ごみの山もこの公園の中心的な場所に存在している。この場所をグリーンインフラとして整備するには、地権者の見解を聞くことが解決の第一歩だ。そこで、当該土地の地権者にヒアリング等を行った実績はあるか伺う。さらに、本件について行政行為としての助言や指導を行った実績はあるか伺う。

答 状況は市でも認知しているが、地権者とこれらの扱いについて話した経緯はない。適時、必要に応じて協議を行う。

問 佐倉里山自然公園整備基本構想の14ページには「民有地について、地権者の意向を確認します。売却の意向が確認できた民有地については、順次、用地測量と不動産鑑定を行い、有償による計画的な用地取得を進めます。」と書かれている。議会に上程された2ヘクタールの購

入予算6,695万円を前提とすると、残り32ヘクタールならば単純計算で10億円を軽く超える。民有地の残り32ヘクタールの地権者から売却の意向が確認できれば、その全てについて用地買い取りを進めると読めるが、どうか。

答 全ての民有地を買い進めるという方針はない。当該構想の12ページには『活用ゾーンの一部エリアについては、「重点整備区域」に設定し、有償による計画的な用地取得を進めます。』とある。したがって、指摘されている取得対象は重点整備区域の土地を指す。

問 重点整備区域以外の土地で、地権者から売却の意向が確認できても買わないということか。

答 重点整備区域以外の土地は全て一切買わないという方針でもない。適宜判断する。

問 私は、そもそもこのエリアの民有地を買い進めることに強い疑念がある。まずはこの土地に捨てられているごみの処分の方が、土地購入より明らかに先にすべきことだ。佐倉市の財政は、政策的予算が10%もないという厳しい状況だ。そんな中、重要事業をひとまず置いて、



★議員名の



は各議員の録画映像へリンクしています。ぜひご活用ください。

当公園の民有地を買い進めなければならないという確証がなければ買取り予算に賛同することは不可能だ。一方、今年度の予

算では、先行して2ヘクタールの用地購入予算6,695万円が議会承認された。実に由々しき事態であることを申し述べておく。

無党派の会

みつい よしふみ
三井 義文



コロナワクチン定期接種安全性

問 コロナ後、全国的に予防接種健康被害申請が急増し、ワクチン接種回数と感染死の相関関係が推察され、接種後感染者も多く発生し、国の治験結果も未発表である現状の認識はあるか。

答 本ワクチンは開発に必要な臨床試験で厳格な評価の上、薬事承認されたと認識している。

問 定期接種となる自己増殖型mRNAワクチンは開発途上で危険なものとの認識はあるか。

答 国において厳格な評価が行われるものと認識している。

災害時緊急避難所の確保

問 現時点での避難所受け入れ、仮設住宅設置対応の見込みは。

答 避難所生活者最大想定数を充足している。応急仮設住宅は建設の他、公営・民間賃貸住宅等、さまざまな方策を検討する。

在留外国人対応について

問 不法在留外国人増加に伴い

住所を不法取得されない方策は。

答 居住実態を調査し、居住確認できない場合、住民登録を職権削除し、出入国管理庁に通知。

中学教科書採択について

問 改正教育基本法の教育目標、学習指導要領の歴史教育目標には国を愛し、歴史への愛情を深めるとあり、教科書選定に市としてどのように取り組んだのか市のHP等に記載いただきたい。

答 印旛採択地区協議会は非公開であり、その議事録は同協議会事務局が行うことになる。

新時代に向けた行政対応

問 地域通貨導入による経済やボランティア活動の活性化事例を参考にし、ブロックチェーンを利用したデジタル通貨で市独自の財源を研究してはどうか。

答 地域通貨の利点は認識しているが整理すべき課題も多く、デジタル通貨の利用においても国の動向を踏まえ研究していく。

日本共産党

いしい のぼる
石井 昇



平和行政について

問 ウクライナ侵攻へ発した市長コメントをガザ侵攻へ発しないのは、市民に二重基準と捉えられても仕方がないのではないか。

答 市民の皆さんの判断となる。

問 令和6年5月14日にアメリカが未臨界核実験を行ったが、市は抗議を行ったか。

答 コメントを発信している。

問 原水爆禁止国民平和大行進の後援申請が不承諾と判断されたが、日本国憲法、市平和条例、平和都市宣言に沿ったものであるかが判断基準ではないか。

答 要綱に基づき審査している。チラシの政権批判と言わざるを得ないコメントが市の中立性を損なうと判断した。政権を擁護するような事業も不承諾とする。

問 阿見町予科練平和記念館への視察の感想を伺う。

答 視察した職員の報告から、子どもたちの平和学習の一助と

なる施設だと捉えている。

個人情報保護について

問 自衛隊への名簿提供はしていないか。

答 名簿提供はしていない。

生活保護世帯への夏季加算

問 異常気象の中、物価上昇も続き夏季加算の新設が必要では。

答 全国市長会を通じて要望しているが実現に至っていない。

問 エアコンの設置状況、使用状況の実態把握はしているか。

答 ケースワーカーが定期的に訪問し、確認をしている。

京成佐倉駅北口エレベーター

問 市長は、請願書提出者から直接声を聴く機会を設けたか。

答 都市部長が2回面談の他、副市長同席で意見交換を実施。逐一市長へ報告している。

問 設置に向けた協議の進捗状況、推進計画について。

答 合意を図るため引き続き、熱意をもって協議していきたい。

個人質問

もちつき あつこ
望月 圧子 さくら会



佐倉日蘭協会について

問 オランダ大使館と佐倉市、日蘭協会との交流について伺う。

答 各種イベントに日蘭協会の会長とともに招待いただくなど、大変良好な関係を構築している。

問 関係が築かれている今、市長がオランダを訪問するなど市をアピールする機会は多々ある。インバウンド需要を取り込むため市長自らトップセールスマンとしての役割を果たしてほしい。

障がい者と高齢者のための文化芸術活動について

問 市立美術館において弱視(ロービジョン)の方々でも作品全体を楽しめるような装具の設置を検討してはどうか。

答 障害の特性に応じた鑑賞し

やすい環境の整備について今後研究していく。

佐倉草ぶえの丘バラ園とミステリーローズについて

問 「ローズフェスティバル2024」の来場者の状況を伺う。

答 開催期間中延べ12団体、341名来園した。昨年に比べ、3団体、124名の増。

問 市の努力により本年1月の草ぶえの丘来園者数は500万人を達成した。指定管理になっても施設運営のノウハウの蓄積を生かしてほしい。また、バラ園は草ぶえの丘の発展に不可欠である。ボランティアの力により支えられているバラ園の持続可能な運営のため、指定管理者となっても一層の支援を要望する。

おしき たかより
押木 孝和 公明党



グリーンスローモビリティについて

問 グリーンスローモビリティとは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスのこと。国は地域が抱えるさまざまな交通課題の解決を同時に進められるグリーンスローモビリティを推進しているが、これを市が導入した場合の考えを伺う。

答 環境面でのメリットの他、バスなど比較的大型車両による運行が難しいエリアでも運行が可能となる。一方で、広範囲長距離での運行は難しく、交通量の多い道路では適さない。佐倉市に適した効果的な活用方法や運用体制などを研究していく。

電子地域通貨について

問 デジタル地域通貨やボランティアポイント制度などの導入について市長の考えを伺う。

答 経済環境部に検討プロジェクトチームの設置を指示した。市政施行70周年を契機に、100周年を見据えた制度となるよう、調査研究を加速していく。

心不全の早期発見へ BNP検査について

問 心不全の早期発見のため、BNP検査を特定健診時の血液検査に加えている市もある。市の考えを伺う。

答 国でも実施について検討した経緯があるので国の動向を注視するとともに、他市の実施状況等を研究していく。

なべた たつこ
鍋田 達子 公明党



市民の健康増進、子宮頸がんの検診とワクチン接種等について

問 がん検診の受診率向上が大切。HPV検査単独法の導入について伺う。

答 今年度から集団検診の予約システム導入や複数のがん検診ができる日の設定等に取り組む。HPV検査単独法の導入については、先行自治体を参考に関係機関と協議し、対応を検討する。

問 キャッチアップ接種を伺う。

答 改めて対象者全員に、勧奨はがきを送付する。若い世代に正しい情報が届くようLINEを活用した啓発に取り組む。

問 男子へのHPVワクチン予防接種の費用助成について伺う。

答 他自治体の状況を研究する。

生活環境向上、飼い主のいない猫を増やさない対策等について

問 今年度開始の「飼い主のいない猫不妊・去勢事業」の内容について伺う。



答 市内在住で3名以上の構成団体が地域や関係者と連携して飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行った場合、1匹当たり1万円を上限に補助金を支給。今年度は20匹分。7月開始予定。

問 申請者や活動団体の負担軽減、制度の拡充と関係するNPO団体等への支援を要望する。

ペット防災について

問 飼い主の意識を高めるペット同行の避難訓練について伺う。

答 有効であるため実施に向け具体的な方法等を調査研究する。

答 交通公園は、自動車交通の急成長に伴い、自転車事故が多発したことを契機に昭和57年に設置され、42年目を迎える。

問 施設の老朽化や時代とともに変化する市民ニーズを踏まえ、3on3バスケットコートやスケートボード等のスポーツを楽しむ公園への再編を求める。

タブレット端末の活用について

問 通信環境の障害がまだまだ散見されるが今後の対策について伺う。

答 機器の性能が不十分であることや、情報機器同士の相性など、すぐに対応することが難しい課題については、令和7年度に予定しているタブレット及びネットワーク環境の更新に併せて対応していきたい。

問 タブレット端末が利用できないのは宝の持ち腐れとなる。通信障害は喫緊の課題であるので早期解消を求める。加えて、GIGAスクール構想の目的達成に向けた予算配分を要望する。

まつしま 松島 梢 **市民ネットワーク**

小中学校の水泳指導について

問 小学校6校がスイミングスクールに水泳指導を委託している。今後の拡充についてどうか。

答 6校以外でもプールの老朽化が課題であり、水泳指導委託の拡大に向け検討を進める。

問 今後、中学校の水泳指導は行わないのか。この方針はどこでどのように決められたのか。

答 実施しない。老朽化や授業時間が短い等の要因を考慮し、校長会と協議を重ね中止を決定。

問 佐倉市は、プールが使用できなくなった次年度から民間に委託している。壊れてからではなく、しっかりと今後の方針を決めておくべきと考える。

答 各学校のプール施設の状況を把握し、子どもたちの活動に支障が出ないように今後も努める。

図書館の充実について

問 学校図書館の充実は、子どもの学力や人間性、思考力、表現力等を育み、子どもの心の居場所になることも期待される。佐倉市の学校図書購入費は、全国平均と比べて大変低く、PTA会費で本を購入している学校もある。なぜ予算が少ないのか。

答 学校図書標準100%を達成しながら、計画的に更新ができるよう予算の確保に努める。

問 学校図書館司書は1人1校が望ましいが、2~3校を掛け持ちしている。今後の増員についてはどうか。

答 段階的な増員に努める。

きざき 木崎 としゆき 俊行 **日本共産党**

ユーカリが丘の中央通り街路樹伐採と根上舗装改善要望

問 歩道整備不良により発生した事故は、市の損害賠償の対象にならないか。

答 市に管理の瑕疵があった場合は、賠償の対象となる。

問 行政としては比べることのできない最優先課題だ。市長はなぜ当初予算に入れなかったか。

答 自治会からの要望書が提出された後に、近隣地域の皆さまからさまざまなご意見があり、慎重な対応が必要と考えた。

問 尊重されるのはユーカリが丘1丁目自治会の総意である要望書なのか、その他近隣地域の方から出た意見なのか。

答 自治会の要望が優先である。

問 転んで血を流し、何針も縫うようなけがをした方がいる。財政調整基金を使ってでも執行する必要はないか。

答 基金の趣旨を踏まえ、個別の事業ごとに判断する。

問 自治会から要望されている修繕に必要な予算は幾らか。事業計画を示す責任がないか。

答 現時点で5,000万円程度。予算計上した段階で示せる。

郵便局が移転の中志津スーパーカワグチ周辺にATMの設置を

問 全国調査から70歳代の約7割でキャッシュレス決済が定着とは信じがたい。ATMが必要。

答 現状、当該地域のATMの立地状況に、市が介入するような課題はないと捉えている。

いがらし 五十嵐 ともみ 智美 **市民ネットワーク**

民法改正による共同親権導入の問題点について

問 離婚後の子どもの親権を父母双方に認める共同親権は一方が拒んでも家庭裁判所の判断次第で共同親権となり得る。DVや虐待の恐れがあれば単独親権としているが、家庭という密室での精神的・性的暴力は証拠が残りにくく裁判所が見抜くのは困難。問題の多い共同親権導入は当事者に不安が拡大。市の学校現場では進路の選択や就学援助等で混乱が予想される。また児童扶養手当などひとり親への支援関係等さまざまな影響が危惧される。市制度への影響は。

答 詳細が国から示されていないので、影響は不明である。

指定管理者制度の在り方

問 今年度導入する草ぶえの丘の指定期間を10年とした。これまでは長期でも5年間である。草ぶえの丘は現在直営であるにもかかわらず導入当初から長期とした点について見解を伺う。

答 担当部署が十分な検証の上で判断していると認識している。

問 審査委員会は、これまで事業者選定の公募要件を担当課と審査委員が公開の委員会で協議してきたが、今年度その委員会を非公開にした。市民に情報を公開し、公正な選定を行うという観点で後退している。どういう根拠で非公開としたのか。

答 率直な意見交換を損なう恐れ等として委員会で決定した。

うだ 宇田 みおこ **無会派の会**

令和5年市職員平均給与月額千葉県下1位の現状と課題

問 市職員給与が、この9年間に県内上位3団体に位置し、令和2年、4年、5年と県内1位となっているが見解を伺う。

答 40代後半から50代までの年齢の職員が多いため、平均給料月額や地域手当及び時間外勤務手当が相対的に高くなる。また、基準月となる4月の時間外勤務が多いことが主な要因。

問 平均諸手当月額内の時間外勤務手当が、令和4年の47,984円から、令和5年に94,144円と全国市2位になった要因を伺う。

答 令和5年4月実施の選挙対応が主な要因。コロナ禍で縮小、中止していた事業も本格再開し、

春に大きなイベントを多く開催するなど他市と状況が異なる。基準月となる4月の時間外勤務が他月の約2倍となっている。

問 令和5年度補正予算第10号では、時間外勤務手当は約5億2,000万円、休日勤務手当は1億4,800万円となっている。1時間、職員が残業すると支払われる金額を伺う。

答 時間外単価は平均2,745円。

幼児小中一貫教育の重要性

問 小1プロブレムや中1ギャップ等課題の効果的対応に、幼児小中一貫教育が有効と考えるが見解を伺う。

答 他自治体の事例等を踏まえると一定の教育的効果はあるが、導入には慎重な検討を要する。

さいとう 齋藤 ひろゆき 寛之 **自由民主さくら**

公園と道路整備について

問 公園の機能充実について、特にトイレ、ベンチ、街灯の整備について伺う。

答 全体的に老朽化が進んでおり、修繕や更新が追いついてい

ない状況である。利用者のニーズに見合った特色のある公園づくりについても併せて検討していきたい。

問 上座総合公園内の交通公園の状況について伺う。



令和6年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 承承認 ○賛成 議議長

Table with columns for 議案番号, 議案名, 議決結果, 党派 (さくら会, 自由民主 さくら, 公明党, 市民ネット ワーク, 日本共産党, 公開と改革, 無党派の会), and 議員 (10-28, 8-14, 4-7, 11-20, 3-6, 2-7, 1).

令和6年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可可決 否否決 同同意 採採択 不不採択 ○賛成 ×反対 議議長

Table with columns for 議案番号, 議案名, 議決結果, 党派 (さくら会, 自由民主 さくら, 公明党, 市民ネット ワーク, 日本共産党, 公開と改革, 無党派の会), and 議員 (10-28, 8-14, 4-7, 11-20, 3-6, 2-7, 1).

議会ウェブサイトをぜひご覧ください

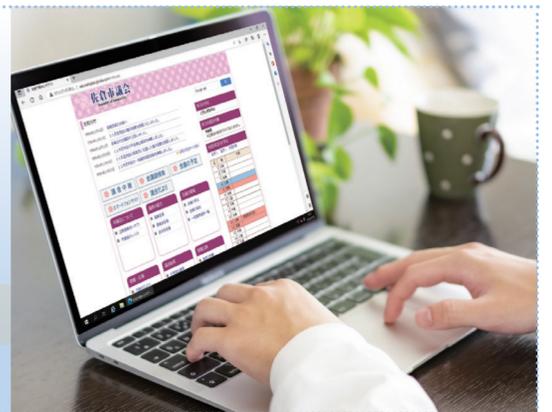


- 会議録検索: 検索できる会議録はこちら...
インターネット中継: 本会議の様様を、開催時間中にライブ中継...
政務活動費: 政務活動費の支出の根拠、取扱基準や経費の範囲の説明の他、収支報告書や領収書を公開中

議会ウェブサイト 二次元コード



佐倉市議会 検索



議案に対する会派等の意見

さくら会

議案第1号 令和6年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

令和6年度佐倉市一般会計補正予算については、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業の他、佐倉ふるさと広場の親水性を高めるための観光拠点整備事業（ふるさと広場水上デッキ整備工事設計負担金）や市民の安全・安心に資する消防施設整備事業（志津消防署の建て替え候補用地に係る不動産鑑定手数料）などが計上されており、今日的な課題への対応のみならず、将来投資を含めた、バランスの取れた予算と判断し、賛成した。

特に、地方創生臨時交付金を

活用した事業については、その立案にあたり、国から示された目的を踏まえ、物価高騰の影響を強く受けている市民や価格に転嫁することが困難な事業者、国や県の支援が行き届かない方などへの支援を基本的な方針と定め、物価高騰に伴う子育て支援としての保育施設等に対する給食食材費補助、消費を下支えするための水道料金の減免、福祉施設に対する物価高騰対策としての光熱費等の補助、地域交通を維持するための公共交通継続支援事業など複数の事業が選定されたことが確認できた。いずれの事業も、本市の実情に即した事業であるとともに、限られた財源の中でバランスよく計上されたものであることから高

自由民主さくら

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当事業について、自由民主さくらでも、物価高騰は市民全体の課題であり、今後は消費を下支えしている生活者、市民全体を見据えた物価高騰対策を検討する旨を要望してきた。限られた財源の中で市内水道使用者である個人や事業者に対し、2カ月分の基本料金を減免することで95%の市民に対して充当できるため、適切な支援事業であると評価する。保育園等への給食食材費高騰分の支援についても、子どもたちの成長に係る食の部分に支援を行うということで賛成。地域連携事業について、地域と学校の連携・協働事業、放課後子ども教室の実施に

係る予算だが、当初予算ではゼロベースだったものが補正で計上され期待をしている。今後は学童保育における待機児童問題をいかに解決していくか、施設整備だけでなく、放課後子ども教室といった形で待機児童の解消と子どもたちの放課後の安心安全な居場所づくりに努めていただきたい。地域にも民の力で子どもの居場所づくりを行っている学習支援やこども食堂もあるので、ぜひ連携し、民間の居場所づくりの指針となるように進めてほしい。最後にふるさと広場水上デッキ整備に係る設計負担金については、Wコア構想、千葉うみさとラインとの連携を図り、ふるさと広場の事業の価値観を高めていくことを要望する。

市民ネットワーク

議案1号補正予算に反対の理由

戸籍の全国化に関わるシステム改修費は、マイナンバー制度に、さらに戸籍が組み込まれ、情報漏洩によるプライバシー権侵害の恐れがより高まる。

コロナワクチン追加予算は、コロナが昨年5類になったことを受けて、インフルエンザ並みの定期接種となった。接種の努力義務はなく、副反応が起きた

場合の補償額も低くなることを併せて周知すべき。

観光拠点整備事業は、ふるさと広場水上デッキ整備工事設計負担金を当初予算から662万円増額し962万円とするもの。本事業は、かわまちづくり計画に位置づけられ、計画の中心はふるさと広場拡張整備事業で周辺整備と合わせ総事業費約18億円。多額の税金を投入する、ふるさと広場拡張整備事業に反対してきたが今回の事業はその一環だ。

無会派の会

議案第1号に意見を付し賛成

水道料金基本料2カ月分減免95%の市民が恩恵を受けるが、残り5%の市民との公平性に欠ける。水道未契約で飲用井戸設置者への配慮をすべきである。感染症等予防事業(定期接種)

現行のmRNAワクチンの安全性が不透明。副反応事例等の入手に努め、市民の任意接種判断に十分な情報提供に努めること。志津消防署(1,651㎡)建て替え用地7,000㎡の不動産鑑定建て替えには賛成だが敷地が約4.2倍になる。訓練用地部分などは管轄地域の中央付近が妥当。

く評価する。物価高騰対策は、その迅速性が求められることから、可及的速やかな事業執行を強く要望する。

ふるさと広場水上デッキ整備工事設計負担金については、ふるさと広場拡張整備事業の一環として千葉県と連携して実施するものであり、観光需要の喚起に資する取り組みであることから計画的に進めていただきたい。

また、老朽化等が進んでいる志津消防署の建て替え候補用地に係る不動産鑑定手数料は、地域の消防力向上に直結する取り組みであるとともに、安全・安心なまちづくりのためにも不可

欠な事業であり、時宜を得た予算計上と判断した。

なお、安定的な市民生活を維持する上で、極めて重要な社会基盤である公共交通事業や物流事業については、物流業界における2024年問題をはじめ、人材不足が大きな課題となっている。

この状況を踏まえ、市民生活に欠くことのできない社会基盤を堅持する必要があるため、行政による支援が期待されている。

市においては、今回の物価高騰対策にとどまることなく、地域課題の解決に資する、実効性の高い、さらなる事業立案を期待している。

公明党

議案第1号は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援策などである。

公明党は令和4年度から、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等の各種交付金を活用した「物価高騰対策などを含め、市民や事業者の実情に即した事業」を行なうよう要望し、市もそれに応え各種物価高騰対策事業を実現してきた。今回は、民間・公立保育園、認可外保育施設や私立幼稚園に対する、食材費高騰分園児一人あたり月1,000円基準の支援、介護や障

害福祉施設等に対して物価高騰分1/2相当額を支給、公共交通事業者に燃料費高騰分1/2相当額の支給などが提案されている。

また「消防施設整備事業」は、志津消防署の建て替え移転候補用地に係る不動産鑑定手数料で、現志津消防署が築40年以上経過している上、個室仮眠室、女性専用施設や救急消毒室が未整備であり、1日も早く地域の防災拠点とも成り得る充実した消防署の建設を期待し賛成する。

議案第3号は、市内水道使用者へ2カ月検針分の基本料金を減免するもので、生活者支援策であることから賛成する。

日本共産党

物価高騰対策の事業が並ぶがどれも国交付金頼りで市が独自に考え抜き独自に予算支出を成し遂げたものが全くない。水道料金の基本料金2カ月減免の補正があるが、全市民の約5%は、井戸水を使っており、その恩恵

を受けることができない。物価高騰に苦しむ市民全体を救済せんとする、理念が欠如している。

ふるさと広場水上デッキ整備工事設計負担金は、完成時までの予定額さえ示せないという実態で厳しい佐倉市の財政状況の中、命と暮らしを守る補正予算とは到底認められない。

公開と改革

議案第4号災害対応の特殊勤務手当の要件緩和に関する条例改正に賛成。他方、佐倉市では千葉県で唯一市職員向け持ち家手当を実施中だ。持ち家手当は、災害時の早期参集のため、市職員を佐倉市に集住させる目的の

条例だが、他市の検証により効果がないことが判明している。災害時職員は、居住地が市内外問わず出動する。災害発生箇所によっては市外職員の方が早く参集できるケースもある。特殊勤務手当で業務に適切な対価を払うことができる本条例改正により、持ち家手当は廃止すべき。

会派に属さない議員

議席1番

議案第1号令和6年度佐倉市一般会計補正予算に賛成。消防施設整備事業による志津消防署の建て替え方針には賛成できるが、その立地、規模等については、慎重に議論、検討を重ね候補用地を選定し、佐倉市全体の防災力強化に資するよう要望する。

スマートフォン用アプリで佐倉市議会だよりをご覧ください。

マチイロ



※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

総務常任委員会

開催日：令和6年6月17日
場所：第三委員会室

《審査結果》

Table with 5 columns: 議案1, 議案4, 議案5, 議案6, 請願8. Results: 可決, 可決, 可決, 可決, 不採択

議案4件、請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

【付帯意見】

外国人女性のための日本語講座事業の実施にあたっては、委託先に全てを委ねるのではなく講座内容について十分な協議を行うなど、受講者にとって有益なものとなるよう努めていただきたい。

【委員】

○平野裕子、○押木孝和、高橋とみお、木崎俊行、山本英司、敷根文裕、櫻井道明

文教福祉常任委員会

開催日：令和6年6月18日
場所：第三委員会室

《審査結果》

Table with 5 columns: 議案1, 議案2, 議案7, 議案8, 議案9. Results: 可決, 可決, 可決, 可決, 可決. Row 2: 請願6, 請願7. Results: 採択, 採択

議案5件、請願2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

【付帯意見】

「放課後子ども教室」の取り組みについては、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域コミュニティの充実が図られるよう、地域の実情や先進自治体の調査・研究に努め、子どもたちの安全・安心な居場所づくりを推進していただきたい。

【委員】

○村田穰史、○齋藤寛之、三井義文、徳永由美子、望月庄子、伊藤とし子、岡村芳樹

経済環境常任委員会

開催日：令和6年6月19日
場所：第三委員会室

《審査結果》

Table with 1 column: 議案1. Result: 可決

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

【付帯意見】

かわまちづくり計画に基づく観光拠点整備事業については、関係機関と連携を図りながら、印旛沼流域の総合的な利活用の推進につながるよう、しっかりと整備を進めていただきたい。

【委員】

○高木大輔、○鍋田達子、三谷英継、稲田敏昭、橋岡協美、五十嵐智美、爲田浩

建設常任委員会

開催日：令和6年6月20日
場所：第三委員会室

《審査結果》

Table with 5 columns: 議案1, 議案3, 議案10, 議案11, 議案12. Results: 可決, 可決, 可決, 可決, 可決

議案5件について審査し、その結果は左表のとおりです。

【委員】

○齋藤明美、○石井秀明、石井昇、長谷川泰弘、宇田みおこ、密本成章、松島梢

議会の構成

～各委員会の構成が変わりました～

*佐倉市議会委員会条例に基づき、常任委員の任期は1年です。 ○委員長、○副委員長



高橋とみお、敷根文裕、木崎俊行、櫻井道明、○押木孝和、○平野裕子、山本英司



徳永由美子、望月庄子、三井義文、岡村芳樹、○齋藤寛之、○村田穰史、伊藤とし子



爲田 浩、三谷英継、稲田敏昭、五十嵐智美、○鍋田達子、○高木大輔、橋岡協美



長谷川泰弘、松島 梢、石井 昇、宇田みおこ、○石井秀明、○齋藤明美、密本成章

●会派・各常任委員会等

議席番号順、※会派代表者、○委員長、○副委員長、◇オブザーバー

Table showing committee membership for various groups like さくら会, 自由民, 公明党, etc.

●組合議会等

Table listing various committees like 印旛衛生施設管理組合, 印旛利根川水防事務組合, etc.

8月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 8月20日(火)
◆招集日 8月26日(月)午後1時から
◆一般質問 9月2日(月)～5(木)
◆常任委員会 9月9日(月)～12(木)
◆決算審査特別委員会 9月17日(火)～20日(金)
◆最終日 9月25日(水)午後1時から

- ◆陳情・請願の提出期限
◆陳情提出期限 8月13日(火)午後5時
◆請願提出期限 8月19日(月)午後5時
☆8月定例会の予定は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。

- 一本会議(招集日・一般質問・最終日)の映像
□インターネット中継: 開催時間中にライブ中継する他、開催日のおおむね1週間後から録画中継を配信
□CATV放映: 開催日翌日午後5時30分から放送【地上デジタル10ch、デジタルCATV301ch】

お子さま連れで議会傍聴へ!

- 対象児 生後6カ月以上で就学前のお子さま
利用日 本会議の一般質問のみ
*傍聴者おひとりにつき1日2時間まで
利用料 無料
申込期限 各定例会の招集日午後5時まで
利用方法 佐倉市議会事務局(TEL043-484-6254)までお電話ください。



議会百景

皆さまに分かりやすい紙面作りのみならず、市民意見の把握のため実施する意見交換会に、主権者教育、若者の政治参加の視点も加え昨年度から実施している高校生との意見交換会に、委員一丸となって取り組む。

(広報公聴委員長 高木 大輔)

市議会において審議しているさまざまな内容や、市民意見把握のため実施している意見交換会など市議会の活動を皆さまに分かりやすく、また年4回の発行を楽しみにしてもらえよう「議会だより」を目指す。

(広報公聴副委員長 長谷川 泰弘)